

図書室だより



開成町図書室 ▶ ☎20-4742
 開室時間 ▶ 火～金曜日：10時～20時30分 / 土・日曜日：10時～17時
 休業日 ▶ 毎週月曜日
 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、開室時間を変更することがあります。
 ※貸出冊数は一人4冊までです。貸し出し期限は2週間です。

親子で楽しむ

おすすめ絵本

町では、読書を通して家族のコミュニケーションを深めるため、毎月1日を「ファミリー読書デー」としています。図書室で借りられる、親子で楽しめる本を紹介します。



たなばたさま きらきらら

長野 ヒデ子 / 作絵

七夕飾りはどうやって作るの？お願いごとの正しい書き方は？七夕の夜は何を食べるの？七夕の一日をていねいに過ごす方法を教えてくれる絵本です。

七夕の絵本で遊ぼう！

7月7日は七夕の日。笹に飾りをいっぱいつけて、願い事を書いた短冊をつける楽しい行事のひとつです。七夕の由来を知ることが出来る絵本や、七夕がテーマの絵本をお子さんと読んで、ぜひ一緒に楽しんでください。

ひびのりこ 日比野 紀子 (左)
 おのやまなおみ 小野山 直美 (右)



NEW 新着本

新しく購入した図書の一部を紹介します。図書室にない本は、リクエストできます。お気軽にご相談ください。

| | | |
|-----|---------|--------|
| 一般書 | にぎやかな落日 | 朝倉 かつみ |
| | ひきなみ | 千早 西 |
| 児童書 | あおぞら | いとう みく |
| | 七不思議神社 | 緑川 聖司 |

| | |
|---------|-------------|
| くるくるくるま | インゲラ・アリアノウス |
|---------|-------------|

子育てナビ

子どもの肌を守る！ スキンケア

問 子育て健康課 ☎84-0327

初めまして！
 新人保健師の茂川安美です。
 保湿のポイント、ムラなく塗ることです。
 保湿剤をちょこん、ちょこんと点のように置いてから、やさしくなでるように塗るとムラなく塗ることができますよ！



子どもの皮膚の特徴

子どもは、皮膚を外の刺激から守る「バリア機能」が未熟です。特に、皮脂の分泌が少ないという特徴があります。皮脂は、肌の表面を保護し、水分の蒸発や有害物質の侵入を防ぐ役割を果たします。そのため、皮脂の分泌が少ない子どもは、肌が乾燥しやすくなっています。

また、子どもは大人に比べて、新陳代謝が活発なため、汗やアカで皮膚が汚れやすいので、日々のスキンケアが重要になります。

皮膚を清潔に保つ

汗、ほこり、汚れは早めにシャワーや入浴で洗い流しましょう。

また、子どもは大人に比べて、新陳代謝が活発なため、汗やアカで皮膚が汚れやすいので、日々のスキンケアが重要になります。

皮膚の保湿

保湿を行うことは、アトピー性皮膚炎、おむつかぶれ、アレルギー疾患などを防ぐことにも繋がります。保湿を十分に行うことで皮膚のバリア機能が高まり皮膚トラブルの予防効果を発揮します。

お風呂上りにボディクリームなどの保湿剤を塗ります。

夏でも保湿は必要です！

皮膚のバリア機能を保つためには、いつも肌が清潔でしっかりと洗って汗を拭き取ることも大切です。汗でべたべたすると、皮脂が詰まりやすくなり、かゆみを誘発するお風呂の泡を手に取って優しく洗い、お湯でよくすすぎ、タオルで押さえるように拭きましょ。夏は汗をかきやすいので、首や足の付け根などしわが寄るところは特に意識して洗いましょ！

親子でレシピ

7月7日の夜、織姫と彦星が年に一度だけ会うことができるという伝説に基づいた星祭りの行事です。七夕にそうめんを食べると、1年間無病息災で過ごせると言われています。

材料(4人分)

- そうめん…4～5束
- めんつゆ…適量
- たまご…2個
- 油…大さじ1
- オクラ…6個
- 塩…適量
- ハム…4枚
- 人参…1本

作り方

- 1 フライパンに油を引き、溶いた卵を流し入れ、薄焼き卵を作る。
- 2 1とハムは星形の型抜きでくり抜き、余ったところは細切りにする。
- 3 オクラは板ずりをしてからさつとゆで、輪切りにする。
- 4 人参を輪切りにした後、星形の型抜きでくり抜き、余ったところは、適当に切る。串がすっと入る程度にゆでる。
- 5 鍋にお湯を沸かし、表示通りにそうめんをゆでる。
- 6 皿に5を盛り付け、234を飾り付け、めんつゆを注ぐ。



砂場遊び



「みてみて！クレヨンで描いたよ」

元気だより

問 開成幼稚園 ☎82-4247

初めての集団生活

開成幼稚園3歳児担任
 鈴木 すずき

友子 ゆうこ

慣れない場であった幼稚園が、入園して3か月が経つ今では、すっかり「私たちの場所」へと変わり、3歳児のたくましさがあちらこちらで見受けられます。

砂場では先生や数人の子どもと一緒に山や川を作ったり、室内ではクレヨンや粘土等を用いてイメージしたものを表したりと元気に、また集中して遊んでいます。その時々子どもたちが感じたこと、発見したことに心を寄せ、さらに安心して自分の気持ちを表して過ごせるよう支援員と連携し関わることを心掛けています。

家庭で養った「自分を大事にする気持ち」を今度は集団生活の中で「友だちついでいいな」と思い合えるように、たくさん遊んでいきたいです。

「元気だより」では、町の子どもの様子を学校・保育園等の現場からお届けします。